

議 事 録

会議の名称	第7回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会
開催日時	令和5年12月14日（木） 午後7時～
開催場所	羽村市役所4階 特別会議室
正副会長	川村孝俊会長 川津紘順副会長
出席委員	川村孝俊、中村正人、五十嵐寛人、田畑正彦、川津紘順、 奥平睦美、栗原悦男、佐藤直人、小川麻紀、渡辺あや子、 野口和、成沢崇志、横内正利、浅野光男
欠席委員	中土善雄
事務局	福祉健康部長、高齢福祉介護課長、高齢福祉係長、 介護予防・地域支援係長、介護保険係長、介護認定係長、 高齢福祉係主事、介護予防・地域支援係主事、介護保険係主任、 介護認定係主事、策定支援業者1名
会議内容	1 開会 2 議事 （1）羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画 答申(案)について 3 事務連絡
会議資料	次第 資料19 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画 答申(案) 資料20 SDGsの17の目標と自治体行政の果たし得る役割 資料21 第1号保険料に関する見直しの方向性(案)

第7回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会 議事録

発 言 者	議題・発言内容及び決定事項
事 務 局	<p>1 開 会</p> <p>ただ今より、第7回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会を開催します。</p>
会 長	<p>2 議 事</p> <p>次第に沿って議事を進行してまいります、その前に事務局に伺います。本日の傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>
事 務 局	<p>傍聴希望者はありません。</p>
会 長	<p>「(1) 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画答申(案)」に関して、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(1) 羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画答申(案)について (資料19「羽村市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画 答申(案)」 資料20「SDGsの17の目標と自治体行政の果たし得る役割」 資料21「第1号保険料に関する見直しの方向性(案)」に基づき説明)</p>
会 長	<p>主な変更点、基本目標4について説明をいただきました。皆さんからご質問ご意見いただきたいと思います。</p>
委 員	<p>基準額が出た場合、料率について10段階以上は高くして、1から3段階は低くするという方向で検討されていると理解してよろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>おっしゃるとおりです。</p>
委 員	<p>14ページの健康寿命で、今回、要支援1が要介護2になっていたのが、質問をしたら、今回の資料は前回までと同じ形になっているという説明がありました。</p> <p>どうして要介護2が出てきたのか、厚生労働省のホームページで調べました。令和3年の「65歳健康寿命算出結果区市町村一覧」という表に、要支援1と要介護2の表がありました。これを私なりに解釈すると、要支援1から要介護1になって介護保険のお世話になり、次の要介護2になるまでにどのくらいの期間があるのか、その差が短いほど介護保険のお世話になってから、介護度が上がるのが早くなっていると理解できます。</p> <p>その観点で見ると、羽村市の場合、要支援1が男性が5位、女性が6位と非常に上位ですが、要介護2は男性が13位、女性が24位と悪くなります。今の羽村市の実態は、介護保険のお世話になるのは遅く介護度が上がるのが早いと解釈しました。本計画でも要支援1以上になってから、要介護2までの期間を長くするような取り</p>

		組みを今後考えていかなければいけないのではないかと思います。
会	長	貴重な分析をしていただいております。これについて事務局から何かあればお願いします。
事	務	局
		要介護度が上がることを食い止めるために、羽村市では通所型体力向上教室に取り組んでおります。この教室は、基本チェックリストの結果または要支援1、2に該当する方がご利用いただけるサービスです。リハビリテーションの専門職が、それぞれ別々のメニューを提示して、筋トレや脳トレなど、一人一人にあったサービスを提供して、元の生活に戻れるようにという取組を進めております。昨年度までは参加人数が少なかったのですが、今年度から委託事業者を増やし、よりたくさんの人が参加できるように取り組んでおります。この事業は令和6年度以降も続けていく予定ですので、介護度上昇を食い止めるための事業として注力します。
委	員	取り組んでいただいているのは結構ですが、現実には悪くなっていることに危機感を持っていただきたいと思います。
会	長	今後は細かいところの分析も含めて、計画を考えていく必要があると思います。ほかにご意見ご質問はございますか。
委	員	90ページに追加された複合型サービスは検討を深める方向ということですが、現時点で羽村市としては前向きに検討しているのか、それとも特にそういう要望はなさそうだという検討なのか教えてください。
事	務	局
		90ページに書かれている検討を深める方向とは、国の分科会にて、複合型サービスの在り方の検討を深めるという方向で意見が出されております。現時点で、複合型サービスがどういった形になるのかというものが示されていないので、羽村市内に積極的に設置するかどうかという議論をする段階にはないと考えております。
会	長	皆さんが一番気になるところが保険料なのかもしれませんが、介護保険料もまだ決まっていません。先ほど説明いただいたように、見直しの方向が議論されていますので、見守っていく必要があると思います。 ほかにご意見ご質問はございませんか。
		今まで説明いただいた答申(案)の審議がすべて終わりました。本日が審議会の最終回ですので、皆様一人一人から、今までのご感想や言っておきたいこと等を言っていただければと思います。
委	員	今回が一番、もう終わりなのかという感じです。今までは、大変でやっと終わりになったという感じだったのですが、今回はあっという間でそれだけ順調に進んできたのではないかと思います。保険料がまだ決まっていない点は残念ですが、いい形

	<p>になることを願います。</p>
<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>確認ですが、資料 21 の案は羽村市の案ということではないのですか。</p> <p>第8期計画までは国の基準が9段階でした。10段階以降はそれぞれの自治体の裁量によって、多段階値を設けることができました。1、2、3段階の軽減については、消費税が10%に上昇した分を軽減に充てていました。国が2分の1、都道府県、市町村が4分の1ずつの公費負担で軽減措置をしていました。軽減措置ではなく段階の料率に反映させることや、10段階以降は、多くの自治体で13段階設定をしているので、それを標準化していくことに審議が進んでいます。</p> <p>料率については、10段階以上の所得が高い方の料率を高く設定し、その分を1、2、3段階に反映させる等の議論があり、具体的な数値が決まらないという現状です。これが決まらないと保険料の基準額が算出できません。現状は13段階で話をさせていただいていますが、それ以降も設定ができるようになるかもしれません。そこは慎重に検討していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>より実効性を担保できるように進めていただきたいと思います。また、何度も申し上げていますが、高齢者の災害時の避難施策はまだ不十分と感じているので、ぜひこの辺を進展できるようにしていただきたいと思います。</p> <p>高齢者の一人暮らし世帯について、地域公益事業で高齢者の居場所づくりを行っていますが、公的なサービスをうまく使えずに一人で過ごされている方がいるようです。今まで外に出る機会がなかった方が結構いるのだと感じています。ニーズに細かく対応できるよう、柔軟な形で取り組んでいただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今期初めて会議に参加し、進んで意見が言えなかったのですが、大変勉強になりました。地域包括ケアシステムの推進など、目標が多くあります。その達成のためにも日頃から、地域の方々、行政の方々と良い関係を築いていこうと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど高齢者の避難の話がありました。災害時の要支援者の名簿なども預かっていますが、何かあった時には隣同士の連携やコミュニケーションが一番重要だと感じています。この答申にも地域における支援体制があります。これは町内会に対して、地域振興課からコミュニティ助成金などをいただいています。それをすべて高齢者にとはいかないので、子どもを対象にした催し事や、コロナが5類になったので久々に納涼祭などを行っています。どこの町内会も会員の高齢化が進んでおり若い人の入会が少ないのですが、地域の高齢者が孤独感を感じずに済むような催し物や事業を考えていきたいと思っています。長寿会との連携も強めて、高齢者がこの地域に住んでよかったと思えるような地域づくりを考えていきたいと思っています。</p> <p>皆さん勉強されている方が多いので、自分もしっかり勉強しないといけないと感じています。</p>

委員	<p>健康寿命を高齢者福祉の中で最重要視しているので、健康寿命の延伸のためにはどうしたらいいのか自分なりに勉強しています。健康寿命を延伸するためには幾つか要素があります。病気の予防、健全な食生活、生活習慣の見直し、シニアの就業や社会参加、外に出て活動することが非常に重要だと思っています。</p> <p>シルバー人材センターの代表として参加していますが、シニアの就業についてシルバー人材センターは重責があるので、シルバー人材センターの活動や方針の中で、このことを生かしていくように進めています。今後とも、この計画の一端を担うシルバー人材センターとして、努力していきたいと思っています。</p>
委員	<p>民生児童委員の代表として参加しています。民生児童委員が少ないため、家庭訪問ができていません。コロナ禍でお会いできていない時間があります。コロナが落ち着いた今、皆さんの状況として、歩けなくなってきた人などがおり、この何年かで良くない状態になっています。今は民生委員として会う方は限られており、町内会などもなかなか参加できないという状態でもどかしいです。今年から少し始まってきたので、少しずつでも進めるかなと思っています。</p> <p>介護で行っている「まいまいず」にリーダーとして参加しています。高齢者は行くところがあるとすごく元気が出ると感じています。お話ができる機会が増えた方は、世の中が明るくなるように感じます。試行錯誤して、少しでも皆が住みよい生活になるように、協力出来たらと考えています。私たちは何かあったら、地域包括につながる仕事が仕事だと思っているので、同じ立場でこれからも頑張っていきたいと思っています。</p>
委員	<p>ボランティア連絡協議会から参加しています。小地域ネットワークというのが羽村市内に幾つかありますが、町内会とは別に、小地域ネットワークの福祉委員会を作って活動しています。高齢者に月1回サロンに来てもらい、使用済みの切手の整理、小物づくり、脳トレでクイズをしたり、会の終わりには役員が軽食を作って、みんなにごちそうするということを行っています。</p> <p>高齢になってくると、会館まで歩いてくることが大変で、出られない人もいますが、できるだけ出てきてもらっています。少し歩ける人には、春と秋に軽いハイキングのようなことも行っています。</p> <p>一人暮らしの高齢者が多く、見守りをしないといけないと言いながら、なかなかそこまでは手が付けられていません。見守りのほうは老人会でしています。福祉委員会でこれから見守りを行い、孤独死をなくそうと話合っています。半月ほど前によく出てきていた元気な人が亡くなり、約1週間気づかれず、不動産屋が家賃が振り込まれないので来てみたら部屋に鍵が掛かかっていて開かないので、警察に頼んで開けてもらったら中で亡くなっていたということもありました。孤独死を少しでもなくすように見守りもしていますが、孤独死はなくなりません。5～6年の間に孤独死が4件ほどあるので、ふれあいの会でお互いに付き合いができるようなことを続けています。</p>

第7回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会 議事録

委 員	居宅介護サービス事業所の代表として参加しています。事業所が2020年10月に開所したばかりで、代表でいいのかと思いながら参加していました。選出されたことには意味があるのだと思い、皆様方の中では当たり前になっている基本的なことをあえて質問させていただきました。羽村生まれ羽村育ちで、羽村市は良いところだと思うので、羽村市の実績をもっとアピールしていいのではないかと思います。
委 員	ケアマネジャーですが、今回初めて参加して、このように計画が出来上がるのだと知りました。羽村市のケアマネ連絡会で、事務局をする事業所からこの会に参加しています。ケアマネの皆さんも順番で傍聴した方がいという印象を受けています。私も審議会でこういう話があったよとケアマネの皆さんに流していませんし、ここで話しすることが個人的意見のようになっていたと思うので、次期から改善できるといいと思いました。ケアマネを巻き込んで、私からも発信したいし、皆さんも交代でここに来ていただきたいと思います。大変勉強になりました。
委 員	<p>友愛訪問員として参加しています。一人暮らしの方4人を月2回、多い時は3回訪問するのですが、皆さん非常に待っていてくださるのです。いつも楽しくお話を伺っています。民生委員から資料をもらった方を訪問しています。自分自身がこの任務を負わせていただいてよかったと感じています。</p> <p>健康寿命の話がありましたが、スポーツセンターでさまざまな施策を出してくださいますが、皆さんに浸透していません。私は口コミで伝えていますが、市役所でももう少し工夫していただき、皆が参加してもらえるようにしてもらえたらと思います。「まいまいず健康教室」に参加していますが、定員25名のうち、ほかの地域の方が何名か参加しています。その地域の方が参加できないことがあるので、地域の会館をなるべく利用できるような施策をしてほしいと思います。</p> <p>勉強不足で資料のうち半分くらい理解できませんでした。これからの自分の人生に活かしていけたらと思います。</p>
委 員	市民の側からの参加であり、専門家ではないため、事業ごとに実績値と計画値が良い数字か悪い数字かが判別できませんでした。できれば目標値を設定していただき、現状に対して十分にできているのか、分かりやすくしてもらえるとありがたいです。実際に事業を実施していく際、人材、時間には限りがありますので、資産を有効に使うためにも優先順位を付けることが大事だと思います。
委 員	若者の意見をもっと伝えられるような発言をすればよかったなというのが反省点です。高齢者が行政におんぶにだっこになるのではなく、高齢者の自立を促す支援がとても重要だと思っているので、今回そういう施策や事業が多くあることを知ることができました。そういった施策や事業をこれからもっと増やしていけるといいと思います。
副 会 長	どこも人材確保が大変だと思いました。社会福祉協議会も人材が足りません。毎

	<p>年採用しても、せっかく育った人材が次の年には出ていってしまいます。皆さんの施設もそうではないかと思います。子どもたちの親の話を聞くと、他の地域の福祉関係の仕事をしている人がたくさんいます。そういう人たちがもっと羽村市の施設に勤め、もっと近くにいれば、子どもの面倒も見られるのではないかなと思います。ほかに行ってしまうことが寂しいような気がします。</p> <p>社会福祉協議会で絶対必要だと言っていますが、予算の関係で人材が確保できないのが、地域福祉コーディネーターです。都内のほかの社会福祉協議会では結構いますが、羽村市では採用できないのが現状です。せっかく職員がいるのに自分の地域に出て行かず、地域のことに入っていないので、地域福祉コーディネーターを作って、もっと地域に出かけていかなくはいけないのではないかと話しています。それができれば、地域のさまざまなことが分かり、皆さんと一緒に社会福祉協議会も協力できるのではないかと考えています。</p>
会 長	<p>進行の仕方のまずさで、皆さんにご迷惑をおかけしたかもしれません。皆さんから多くのご意見をいただき、この計画を作ることができました。この計画を活かすには皆さんのお力が必要です。皆さんの職場、地域で今までされてきたような役割をますます進めていただくことこそが、まだ拾えていないニーズをすくえる一つのきっかけになるのではないかと考えています。皆さんの今後のご活躍をよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>傍聴者の数がやはり少ないです。ほかの関係する審議会にできる限り出たいと思っていますが、なかなか出られないでいます。皆さんの職場や地域で活動されている方、例えば、介護保険事業計画については3年後にあります。今年は障害者計画や地域福祉計画も同時進行で審議されています。そういう審議会がありますので、ぜひ傍聴して皆さんも勉強していただき、それを広めていただくことも含めて、皆さんの活動に活かしていただけるとありがたいと思います。</p> <p>会長として長い時間居させていただきまして、皆さんにご協力いただいたことを感謝します。ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
事 務 局	<p>3 事務連絡</p> <p>会長、委員の皆様ありがとうございました。</p> <p>今回で審議会は終了となります。答申及び計画策定についてご説明いたします。本日決定した答申書については、12月27日に会長より市長へ渡していただきます。答申にあたりまして、事務局で改めて細部まで確認を行うとともに、国の動向を注視して、最後まで確認をしたいと考えております。その上で今後、修正を加える場合があります。もしありましたら、会長にご確認いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。なお、答申の日をもって、審議会の皆様の任期も満了となりますのでご承知おください。その後、答申を基に羽村市として、計画案を作成します。来年1月15日より1カ月間、パブリックコメントを実施いたします。パブリックコメント終了後、寄せられた意見を参考にして必要な修正を加えて、令和6年3月に計画を策定します。令和6年度から3年間運用となります。</p>

第7回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会 議事録

福祉健康部長	<p>事務局からの説明は以上になります。ただ今の説明につきましてご質問はありますか。</p> <p>それでは最後に福祉健康部長の野村より、皆様に感謝のご挨拶をさせていただきます。</p> <p>会長、副会長、審議会の進行、取りまとめ等、ありがとうございました。また、委員の皆様、7回にわたるご審議をいただきまして、ありがとうございました。委員の皆様それぞれの立場からの貴重なご意見をいただきましたことを心より感謝を申し上げます。</p> <p>羽村市では今年度、福祉の計画を高齢者の計画含め、3本策定をしております。12月11日には福祉施策全般に関わる地域福祉計画の審議会が終了し、昨日は障害者計画の審議会が終了いたしました。そして本日、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会が最後の回を迎えております。長い間、福祉に関わっておりますが、2025年が高齢者施策の一つの節目、また目標として高齢者施策の整備をしてきましたが、本当に目の前に迫ってきたなという実感があります。進む高齢化、高齢者の単身世帯や孤独の問題、介護や医療に携わっていただく方の担い手不足など、課題に直面することが多くなってきたと日々感じています。</p> <p>今回の審議を通じて、皆様から頂いたご意見も、今後の高齢者福祉の心配に関することが多かったように感じています。先ほど伺った意見の中で、居場所づくり、社会参加が大事ということで、実際に取り組まれている方がいらっしゃる点について、非常に心強く思っております。</p> <p>傍聴者がいたほうがいいのかというのは、昨日の障害福祉計画の審議会でも、障害者の方がもっと見に来てもいいかもしれない、関係者がもっと見に来てもいいかもしれないというご意見がありました。事務局としても、課題の一つとして捉えております。</p> <p>高齢化のために地域福祉はこれからも進めないといけないことが多く、市としても皆様にご検討いただいた計画を進めてまいりたいと考えております。しかし、市だけでできることばかりではなく、今回審議会にご参加いただいた皆様のお力をお借りすることも多いかと思えます。引き続き、誰もが住んでみてよかったと感じられる地域づくりにご協力いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、審議会委員としてご協力いただきましたことを深く感謝しております。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第7回羽村市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画審議会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、長期間にわたりご協力いただきまして大変ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>